

病院名	岩手県立胆沢病院
研修科目名	呼吸器外科

◇ 研修目的

呼吸器外科診療では、一般外科診療に必要な診療技術習得を基盤として、呼吸器外科領域の専門的な知識や技術を学び研鑽することを目的とする。したがって、研修では基本的な創傷処置や感染症対策、切開法や縫合法はもとより、呼吸器外科学に必要な局所解剖学や呼吸生理学、画像診断学などの実地臨床に即した知識に習熟することが要求される。その上で、外科療法の対象となる呼吸器疾患の的確な手術適応判断と具体的な治療手段、手技について習得するものである。

呼吸器外科診療では、常に1人の呼吸器科臨床医としての客観的判断能力が要求される。よって、問診や理学所見、検査所見の正確な評価は言うまでもなく、呼吸器内科医、放射線科医との討議には積極的に参加し連携医療に努めるとともに、心理的側面として対話重視の全人格的観察力と洞察力を身につけることも重要な修練となる。

◇ GIO（一般目標）

呼吸器外科疾患における安全で確実な治療を行うため、専門知識を駆使した評価法による的確な手術適応判断の能力を養うとともに、実践的な技能修練を通して臨床に即した治療法について習得する。

◇ SBOs（個別行動目標）

1. 外科学一般の知識があり、呼吸器外科専門用語を理解し使用することができる。
(知識・想起)
2. 呼吸器疾患に関する正確な知識があり、所見をとりカルテに記載することができる。
(知識・想起・技能)
3. 開創、縫合、抜糸などの一般外科的処置の技量があり、指導医の下で開胸と閉胸を行うことができる。
(技能)
4. 呼吸器感染症に対する正確な知識を持ち、EBMに則った対応ができる。
(知識・問題解決)
5. 胸部単純X線写真やCT、MRIなどの画像所見を理解し、正確に説明することができる。
(知識・解釈)
6. 肺機能や他の検査所見を評価し、総合的な判断に基づいた手術適応の可否について判断し説明することができる。
(知識・問題解決)
7. 呼吸器外科術後の病態を把握し、術後合併症に対する適切な処置について説明することができる。
(技能・態度)
8. 胸腔ドレーンを挿入し、また抜管することができる。
(技能)
9. 呼吸器の病態に応じた呼吸管理法の知識を持ち、酸素療法や理学療法の正確な知識があり、また人工呼吸器の管理をすることができる。
(知識・解釈・技能)
10. 症例を担当し、その経過をサマリーとして纏めることができる。
(知識・解釈・技能)
11. 胸部外傷の病態を理解し、適切な対処法について説明し指導医の下で実行することができる。
(知識・解釈・技能・態度)
12. 患者の心理状態に配慮した診療態度を維持し、病態について詳細に分かりやすく説明することができる。
(技能・態度)

◇ 研修方略

LS	方法	該当SBOs	対象	場所	媒体	人的資源	時間	学習時期
1	講義	1. 2. 4 5. 9. 11	研修医	病棟会議室	プリント	指導医 医療工学士	1時間	毎週水曜日
2	BST	2. 7. 8	研修医	病棟	カルテ, マニュアル	指導医	1時間	毎週木曜日
3	実技	3. 8	研修医	手術室	マニュアル	指導医 看護師	3時間	月・火・金曜日
4	病棟実習	4~7 9~12	研修医	病棟	無し	指導医	2時間	水・木曜日
5	Case study	10. 12	研修医	病棟会議室	カルテ PC	指導医 看護師	1時間	毎週水曜日
6	Group work	6. 7. 12	研修医	外来	カルテ	指導医	1時間	毎週金曜日

◇ 研修評価

SBOs	目的	領域	測定者	時期	方法
1	形成的	想起	指導医	LS1後	観察記録
2	形成的	想起・技能	指導医	LS2中	観察記録
3	形成的	技能	指導医	LS3中	実地試験
4	形成的	問題解決	指導医	LS4中	口頭試験
5	形成的	解釈・技能	指導医	LS4中	口頭試験
6	形成的	問題解決	指導医	LS4中	口頭試験
7	形成的	技能・態度	指導医	LS4後	口頭試験
8	形成的	技能	指導医	LS3中	実地試験
9	形成的	解釈・技能	指導医	LS4中	観察記録
10	形成的	解釈・技能	指導医	LS5中	観察記録
11	形成的	解釈・態度	指導医	LS4中	実地試験
12	形成的	態度	指導医	LS6中	観察記録

◇ 週間予定表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	病棟朝回診 手術	病棟朝回診 外来	病棟朝回診 手術	病棟朝回診 外来	術前症例検討会 病棟朝回診 (手術)
午後	手術 病棟夕回診	外来 気管支鏡検査 病棟夕回診	手術 病棟夕回診	外来 病棟夕回診 病棟カンファ	カテーテル検査 病棟夕回診 呼吸器科との合同 カンファ

1. 定例手術日：月曜日、水曜日、（金曜日）に各1～2件（手術開始時刻は定例10:30）
手術が立て込む場合は、曜日、開始時刻に随時変更あり。
2. 病棟カンファレンス：木曜日 16:00～17:00
3. 呼吸器内科、外科合同症例検討会：金曜日 16:30～
4. 外来：火曜日、木曜日
5. 気管支鏡検査：火曜日午後 カテーテル検査：金曜日午後
6. 死亡症例検討会：木曜日 8:00～8:45
7. 術前症例検討会：金曜日 8:00～9:00
8. 病理カンファレンス：金曜日 15:30～

◇ 研修内容と方法

研修医は呼吸器外科入院患者すべての担当医として診療に当たり、診療録の記載を行って指導医の校閲を受ける。毎朝の回診には必ず参加し、術後患者の処置を担当する。呼吸器外科に関する救急処置や病棟呼び出しには、原則的に参加する。

予定手術ではできるだけ助手としてメンバーに加わり、呼吸器外科領域の手技を学び取るとともに、気胸、血胸に対する胸腔ドレナージと呼吸管理法について修練する。

気管支鏡検査と右心カテーテルを中心とした心肺機能検査の実地修練を行い、手術適応の可否に関する判断能力を養う。また回診はもとより定例の症例検討会には積極的に参加し、多症例の画像を見聞して正確な読影力を習得する。

担当症例の中から、適当症例を指導医に選択してもらい、病状経過サマリーの記載を行い校閲を受ける。

◇ 平成26年度指導責任者及び指導医

呼吸器外科指導責任者：半田 政志
研修指導医： 渋谷 丈太郎